

SHIRETOKO 知床

日本の世界自然遺産

白神山地 SHIRAKAMI-SANCHI

OGASAWARA ISLANDS 小笠原諸島

屋久島 YAKUSHIMA

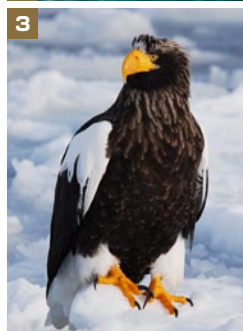
現在進行形の生物進化 — 小笠原諸島

世界遺産「小笠原諸島」は、東京から南に約1,000kmに位置し、「ポニンプルー」とよばれる紺碧の海と切り立った断崖に囲まれた島々です。島には主に亜熱帯林と乾性低木林が生育しています。これまで一度も大陸と陸続きにならなかったことがないため、独自の進化を遂げた動植物が多く、樹木の約70%、100種以上のカタツムリなど陸産貝類の90%以上が固有種です。一つの祖先から環境に応じて著しく多様な種に分化する「てきおうほうざん適応放散」、海洋生物種から陸上生物種への進化など、現在進行形の生物進化の過程を目にすることができます。

- 1 乾性低木林（兄島）
- 2 アカガシラカラスバト（絶滅危惧種）
- 3 オガサワラオオコウモリ（絶滅危惧種）
- 4 カタツムリの一種オガサワラオカモノアラガイ
- 5 光るきのこヤコウタケ（グリーンペペ）
- 6 ヒロベソカタマイマイ（半化石）



日本の世界自然遺産



- 1 ヒグマ
- 2 遡上するサケ
- 3 流氷上のオオワシ
- 4 幌別台地に接岸する海水



海から山までつながるいのち — 知床

世界遺産「知床」は、北海道の東北部に位置する知床半島の一部と周辺海域で構成されます。この地は、その厳しい気象条件ゆえに手つかずの森が広がり、海や川と密接に関わり合っています。知床半島周辺の海は、世界で最も低緯度で海水が見られる海域で、冬の間は氷に閉ざされます。しかし、春は植物プランクトンが爆発的に繁殖し、ダイナミックな食物連鎖の舞台となります。多くのサケ類や希少なシマフクロウ、高密度に生息するヒグマなどは、この豊かな生命循環に支えられています。



H I R A K A M I - S A N C H I



- 1 ツキノワグマ
- 2 ニホンカモシカ
- 3 シラガミクワガタ (固有種)
- 4 紅葉するブナ林

太古の植物群の生き残り — 白神山地

世界遺産「白神山地」は、本州の北に位置し、東アジアで最大級の原生的なブナ林が広がります。約1万年前から北日本の山を覆っていた冷温帯ブナ林が、ほぼ手つかずに広大に残る地域です。このブナ林は、約3000万年前に北極周辺に分布していた植物群の生き残りで、当時と同じような植物を多く残しており、大変貴重なものです。非常に雪の多いこの地域では、大雪に耐えられるブナの純林が発達しています。保水力の高いブナ林内では、クマゲラ、ツキノワグマ、カモシカ、シラガミクワガタなど多くの動植物種が豊かな生態系を構成しています。

日本の世界自然遺産

日本列島の植生が凝縮 — 屋久島

世界遺産「屋久島」は、九州南端の沖合に位置し、高峰がそびえる山岳島です。南北に長い日本の植生がこの島に凝縮されており、海岸沿いのアコウなど亜熱帯の植物からはじまり、標高が上がるにつれスダジイなど照葉樹林帯、スギ樹林帯、山頂付近には冷温帯性ササ草原や高層湿原と続きます。このような連続した植物の垂直分布は、北半球の温帯域では他にほとんどありません。「ひと月に35日雨が降る」といわれるほど雨が多く、高湿度の環境に適応した溪流植物や着生植物の緑が瑞々しく森に広がり、樹齢1,000年を超える巨大なヤクスギの天然林が独特の景観をつくっています。

- 1 高層湿原の小花之江河 (こはなのえご)
- 2 ヤクザル
- 3 ヤクシマシャクナゲ
- 4 ヤクシカ
- 5 幹周16.1mの縄文杉



Y A K U S H I M A

世界遺産とは

人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引き継いでいくべき宝物、それが世界遺産です。

この人類の財産を保護・保存し、国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的にした世界遺産条約は、1972年にユネスコ総会で採択されました。日本は1992年に締結しています。



知床 (北海道)
SHIRETOKO
面積: 約 71,100ha 登録年: 2005年
知床世界遺産センター
北海道斜里郡斜里町ウトロ西186-10
TEL0152-24-3255

白神山地 (青森県・秋田県)
SHIRAKAMI-SANCHI
面積: 約 17,000ha 登録年: 1993年
白神世界遺産センター
・西目屋館 (西目屋自然保護官事務所)
青森県中津軽郡西目屋村大字
田代字神田 61-1
TEL0172-85-2622
・藤里館 (藤里自然保護官事務所)
秋田県山本郡藤里町藤琴字
里栗 63 番地
TEL0185-79-3001

小笠原諸島 (東京都)
OGASAWARA ISLANDS
面積: 約 7,900ha 登録年: 2011年

屋久島 (鹿児島県)
YAKUSHIMA
面積: 約 10,700ha 登録年: 1993年
屋久島世界遺産センター
鹿児島県熊毛郡屋久島町
安房前岳 2739-343
TEL0997-46-2992

世界遺産の評価基準 <自然遺産>

世界遺産には、文化遺産と自然遺産があり、自然遺産に登録されるためには4つの評価基準「自然美」「地形・地質」「生態系」「生物多様性」のいずれかを満たす必要があります。

(vii) 自然美	最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。 屋久島
(viii) 地形・地質	生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
(ix) 生態系	陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。 知床 白神山地 小笠原 屋久島
(x) 生物多様性	学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。 知床

*番号 (i) ~ (vi) は文化遺産の評価基準です。